

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	大臣官房統計部センサス統計室	連絡先	森田 (81148)
所管する業務の概要	農林業センサス、漁業センサスを始めとした我が国の農林漁業の構造を把握する統計調査の実施		

1. 基本的な心構え・行動	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>○廊下ですれ違った人に対し、挨拶または会釈をし、来省者の方など、席次を見て用務先を探している人に対し、ご案内するよう心がけている。</p> <p>○日頃からアンテナを高く張り、担当以外の業務や省内外の施策、その方向性などを把握するよう心がけている。</p> <p>○外部からの照会については、親切・丁寧な対応を基本とし、専門用語を避け、解りやすい回答に努めている。</p> <p>○ユーザーの求めているデータの内容について、丁寧に聞き取りを行い、担当以外の照会やその他関連統計についても、事実誤認のないよう、丁寧な案内・説明を心がけている。</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>○所管業務である統計情報の提供に際しての基本的な心構えや行動は室全体として適切に対応できているものの、ビジョン・ステートメントや政策外交員の取り組みはまだまだ不十分であると思われるので、まずは農林水産施策の動向や消費者、生産者からの意見等を全職員が共有できるよう各種情報媒体を活用して周知を図っていく。</p>

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>○現場、地方統計組織の意見等を的確に収集するため、会議や業務掲示板などを通して、本省へ意見等をあげやすい環境づくりを心がけている。</p> <p>○調査の事前・事後において現場の意見・要望を収集し、次回調査の企画立案に努めている。</p> <p>○公表結果については、国民にも理解がしやすいよう工夫し、解りやすい解説（想定問等）の作成や関連データの整理・把握を行っている。</p> <p>○取材後の報道状況（新聞掲載記事等）については、事実誤認等がないかどうか各種メディアを注視している。</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>○現場の率直な意見・要望を把握するため、会議等の機会のほかに、現場に出向いて地方組織から直接、話を聞く機会を更に増やしていく。</p> <p>○地方公共団体に委託して5年周期で実施する大規模調査にあつては、中長期的な調査設計が重要であるため、現場の意見を体系的に整理し次回調査に活かしていく。</p> <p>○公表資料に関する改善意見を収集する仕組みをHPに設置するよう検討するとともに、わかりにくかった点など改善すべき指摘についてより一層の情報共有をはかるための仕組みを検討・構築する。</p>

3. リスク管理	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>○統計数値や各種文書の確認については、担当だけでなく複数の者によるチェックを行っている。</p> <p>○班内ミーティングを週一回をめぐりに実施し、リスク管理の徹底を図っている。</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>○軽微と判断したことが、後々大きな問題となることもあるため、1人で抱え込むことを避け、上司への報告・連絡、相談を励行し、客観的な判断を心がける。</p> <p>○予算要求、発注手続きの失念や遅延、プログラムの検証ミス、集計・審査ミス等が発生しないよう手順・ルールを整備する。</p>

4. その他の重要な取組	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>○職場の雰囲気作りについては、日頃からコミュニケーションをとるよう努めている。</p> <p>○班内ミーティング等を行い、各業務の進捗状況について班内で共通認識を持つこととしている。この際、業務に遅れが見られる場合等は、その解決策も協議している。</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>○業務へのモチベーションを保つため、節目節目でミーティングを行うなどして成果・課題等を確認・議論する。</p> <p>○突発的な問題が生じた場合などの、フォロー体制が速やかにとれるよう、日常から室全体の情報共有を図る。</p>